The autumn of 2013

専門学校部会

商業教育振興会 専門学校部会 お仕事専門ガイド

発行人
神奈川県商業教育振興会
専門学校部会事務局
横浜市西区平沼 1-38-19
学校法人岩谷学園内

SENMON BUKAI NEWS PAPER

『ぷちひらつか２０１３～キッズビジネスタウン～』 専門学校部会と３校がブース出展！

8月25日（日）、平塚商業高校での「ぷちひらつか2013～キッズビジネスタウンひらつか」に参加させていただきました。「ぷちひらつか」は平塚商業と平塚青年会議所による共催で、小学生が企業、団体、模擬官庁等で構成する1つの街の市民となり、その体験する仕事や消費等を通して、協力しながら街づくりを行い社会の仕組みを学ぶイベント。今回、専門学校部会からは『適職診断』をはじめ、『昔のおもちゃを作って遊ぼう（湘南医療福祉専門学校）』『ビーズでアクセサリーを作ろう（横浜ファッションデザイン専門学校』『電気自動車を体験しよう（横浜テクノオート専門学校）』の4コーナーを設置。たくさんの小学生に楽しんでいただきました。

商業教育振興会特別推薦

商業教育振興会加盟の高校生に向けた特別推薦制度。まもなく二次募集も開始！有利な進学条件が設けられていますので、ぜひ高校生にご紹介ください。

「適職診断」を高校内進路ガイダンスに活用しませんか？

これまでも産フェアや高校文化祭等で好評いただいている「適職診断」！ぜひ高校内進路ガイダンス実施時に進路未定者に向けて受けさせてみたい！等の要望があればすぐに担当者が伺います。 部会事務局（TEL.045－290－7090　学校法人岩谷学園　岩谷まで）

適職診断コラム 『「聞く」から「聴く」へ』　専門学校部会幹事（YMCA健康福祉専門学校校長）小林一郎

みなさんは、誰かと会話をしている時に、確かに相手の話を聞いているはずなのに、その話の内容が聞きとれていなかったり、自分が話したことが相手に通じていないなあって感じたことはありませんか？それは、もしかしたらあなたが話し相手を受け入れていなかったり、逆に相手から受け入れられていなかったりしているからかも知れません。まさに聞いているようで聞いていないということが、そこに起きているのではないでしょうか。最近の学生たちの会話を聞いていても、『コミュニケーションがとれていないのでは』と心配になることがよくあります。それは、全く『相手を受け入れていない』･･･自分の言いたいことばかりを口にしているという場面です。もちろん会話は成立していません。相手の存在を尊重しているからこそ会話として成立するのですから･･･。また、自分がどう返答しようかと考えながら聞いているという人がいますね。考えながら聞くという行為もやはり『相手を受け入れること』ができていないと言えるかも知れません。決して相手をやり込めてやろうと考えている場合のことを言っているのではありません。真摯に相手の話を受け止めるには、『聴く』ことに集中する必要がありますね。専門職にとって『聴く』は非常に大切な能力です。医師、看護師、介護福祉士、社会福祉士、保育士、カウンセラー、教師……にとって『相手を受け入れること』は、相手と同じ目線に立って相手を尊重するということが求められます。カウンセリング手法に、繰り返し技法というテクニックがあります。相手の言ったことに返答する前に、相手の言ったことを繰り返して言ってから、自分の言いたいことを続けます。例えば『最近なかなか寝つけなくて困っているんですよ』に対して『そうですかあ･･･最近はよく寝つけなくて困っているんですね。それでは疲れがたまってしまいますね』と言う具合です。まずは相手の話を聴くこと、次に自分の考えや言いたいことを伝えるという二段階になっています。実は、これって相手を尊重していることになると思いませんか？繰り返すことで『私はあなたの話をしっかりと受け止めています』と相手にもわかってもらえるのではないでしょうか。そこには信頼関係が生まれてきます。みなさんも『聞く』から『聴く』に変えていきたいですね。